56	トラツグミ								●						1／3
57	アカハラ										●				1／3
58	シロハラ							●				●			2／6
59	ツグミ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12／36
60	ウグイス		●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●	●●	●●	●	22／67
61	オオヨシキリ	●		●	●			●	●	●	●	●	●		9／27
62	セッカ		●		●	●			●			●			5／15
63	エゾビタキ										●				1／3
64	エナガ			●	●			●●		●●		●	●	●	9／27
65	ヤマガラ			●				●					●		3／9
66	シジュウカラ	●	●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●	32／97
67	メジロ	●	●●	●		●●	● ●	●●	● ●	● ●	●	●	● ●	●	19／58
68	ホオジロ	●	●●●	●●	●●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●	32／97
69	カシラダカ		●	●	●	●	●				●	●	●		8／24
70	アオジ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12／36
71	カワラヒワ	●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●	●	31／94
72	マヒワ				●										1／3
73	ベニマシコ									●		●			2／6
74	イカル		●		●	●	● ●	●		●	● ●	● ●	●		12／36
75	シメ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12／36
76	スズメ	●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●	33／100
77	コムクドリ				●										1／3
78	ムクドリ	●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●	33／100
78	カケス		●	● ●				●		● ●		●	●		8／24
79	オナガ		●●	●●●	● ●	●●●	●	●●	●●	●●●	●	●●●	●●●	●	26／79
80	ハシボソガラス	●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●	32／97
81	ハシブトガラス	●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●	33／100

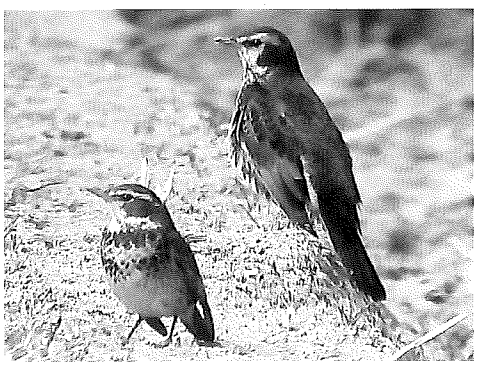
ツグミの大きさについての個人的お粗末

蟹瀬武男（さいたま市）

今年3月11日(土)、さいたま市桜区昭和の通称大久保農耕地A区で撮影したツグミの写真です。左手前が普通の大きさで、他にも周辺に2～3羽いました。右奥がやたら大きく見える問題の個体です。

図鑑などをあらためて見直しても、ツグミの全長は24cmとしか書かれていません。手前の個体が24cmなら、奥の個体は30cm以上になるのでしょうか。これはどういうことでしょう。思い悩んで山科鳥類研究所にメールしてみたら、標識研究室の茂田良光さんから、次のような返事がありました。

「(前略)確かにかなり大きな個体に見えますが、ツグミは雄・成鳥、雄・幼鳥、雌・成鳥、雌・幼鳥の順にサイズが小さくなります。写真の大きなサイズの個体は、羽色、大雨覆から雄・成鳥です。隣の小さな個体は、羽色、大雨覆から雌・幼鳥に見えます。サイズには個体差があり、特に大きな雄・成鳥と特に小さな雌・幼鳥が並んだらこのくらいに見えると思います。通常の個体差の範囲内でいいと思います。バンディングしていて、ツグミの大きな個体で、足環を普通ツグミに付ける4番サイズより、5番サイズを付けた方がいい個体はたまにいます。(後略)」



へええ、こんなに個体差があるのか、図鑑にも最大値と最小値を書いておいてほしいよな、とぶつぶつ言いながら、ツグミの大きさについてさえ十分な知識がないことがあらわになった、個人的お粗末の一幕でした。

要するに、図鑑の「全長」は、ひとつの目安にすぎないということですね。